

問1 大日本帝国憲法から日本国憲法へと変わる際、国のあり方を決定する究極の権限である「主権」の所在が変化しました。この変化が現代の政治にもたらした影響について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)

1. 主権が国民から天皇に移ったことで、国の重要な意思決定を迅速に行う仕組みが整えられた。
2. 主権が内閣から国会に移ったことで、行政権が立法権よりも優位に立つ仕組みが導入された。
3. 主権が地方公共団体から国に移ったことで、全国一律の行政サービスが提供されるようになった。
4. 主権が天皇から国民に移ったことで、選挙などを通じて国民の意思がより強く政治に反映されるようになった。

問2 1960年代の日本において、電気洗濯機、電気冷蔵庫、電気掃除機といった家庭用電化製品の普及率が10年間で飛躍的に高まった背景と、その影響について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)

1. 物価が急激に下落したことにより、貯蓄よりも消費を優先する傾向が強まり、海外製の安価な家電が大量に流入した。
2. 工業化が遅れたため、政府が家計を支援するために家庭用電化製品を国費で各家庭に支給したことで普及が進んだ。
3. 都市部でのエネルギー不足を解消するため、電力消費の少ない伝統的な生活様式を維持するよう推奨された。
4. 高度経済成長によって家計の収入額が大幅に増加し、消費生活が豊かになったことで、家事の負担を軽減する家電が普及した。

問3 1980年代後半から1990年代初頭にかけて、日本の経済において土地や株式の価格が、実体経済の動きとは無関係に異常に高騰した好景気のことを何と呼びますか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)

1. バブル経済
2. 安定成長期
3. デフレーション
4. 高度経済成長

問4 静岡県周辺の太平洋沿岸部において、冬でも気温が5度を下回らない日が多く、比較的温暖である理由として最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)

1. 標高が低く日照時間が短いため、放射冷却が起りにくいから
2. 一年中吹いている偏西風が、大陸の暖かい空気を絶えず運んでくるため
3. 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けるとともに、北からの冷たい季節風が山脈によって遮られるため
4. 暖流である対馬海流の影響を強く受け、冬でも湿った空気が流れ込みやすいため

問5 第二次世界大戦後、わが国が国際連合への加盟を承認されるまでの歴史的な経緯を説明した記述として、正しいものを選択してください。 (2017年 福岡県公立入試 類似)

1. ドイツとの講和条約を締結し、欧州諸国の支持を得たことで加盟が認められた。
2. ソ連との国交を回復したことで、加盟に向けた国際的な環境が整い、承認に至った。
3. 日中共同声明によって中国との国交が正常化されたことが、加盟の直接の条件となった。
4. サンフランシスコ平和条約が発効したのと同時に、自動的に国際連合への加盟が認められた。

問6 1973年に発生した石油危機（オイルショック）が、その後の日本経済に与えた決定的な影響として正しいものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)

1. 円高が急激に進んだことにより、輸出産業が壊滅的な打撃を受けた
2. エネルギー源を石油から石炭へ戻す石炭回帰政策がとられた
3. 1950年代半ばから続いてきた高度経済成長が終焉を迎えた
4. 重化学工業から軽工業へと産業の構造が逆戻りした

問7 鎌倉時代において、将軍と御家人は土地のつながりを仲立ちとした主従関係で結ばれていました。将軍が御家人の領地を安堵したり、新たな土地を与えたりする「御恩」に対し、御家人が将軍に対して果たすべき義務を何と呼びますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)

1. 寄進
2. 守護
3. 地頭
4. 奉公

問8 オーストラリアの輸出について、1960年には輸出総額の約4割を羊毛が占めるなど農産物が中心でしたが、近年では輸出の主力品目が大きく変化しています。2020年の統計において、鉄鉱石や石炭といった品目が輸出額の上位を占めている状況を表す言葉として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)

1. 鉄鉱石や石炭などの鉱産資源
2. 自動車や半導体などの機械類
3. 衣類や木材などの軽工業品
4. 牛肉や小麦などの農産物

問9 宮城県や福岡県のように、その地方の中で最も人口が多く、高速道路や新幹線などの交通網が結節する地点に位置する都市が果たす役割について述べたものです。こうした、地方全体の経済や行政の拠点となっている都市を何と呼びますか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)

1. 政令指定都市
2. 地方中枢都市
3. 過疎地域
4. 三大都市圏

問10 ギニア湾沿岸から内陸部にかけての西アフリカや中部アフリカの地域には、セネガルやコートジボワールなど、ヨーロッパのある言語を公用語として採用している国が多く見られます。これらの国々において、その言語が公用語となっている歴史的な背景として最も適切な説明を選んでください。 (2023年 福岡県公立入試 類似)

1. アラビア半島からイスラム教が伝播した際に、宗教用語として定着したため
2. 大航海時代にポルトガルがキリスト教の布教とともに言語を広めたため
3. 19世紀後半以降、フランスによる植民地支配を受けた影響が残っているため
4. 17世紀にイギリスが綿織物の貿易拠点として大規模な入植を行ったため

問11 近畿地方の工業の特色について、印刷・関連製品の出荷額割合が他の地方に比べて極めて高い理由を説明したものととして、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 福岡県公立入試 類似)

1. 歴史的建造物が多く、文化財の修復や保存のための特殊な印刷技術が発達したため。
2. 大阪などの大都市圏に出版・報道機関が集中しており、印刷物の需要が大きいため。
3. 原材料となるパルプの輸入に適した大規模な港湾施設が、阪神工業地帯に整備されているため。
4. 内陸部の広大な土地に、全国の教科書を一括して生産する大規模な工場団地が建設されたため。

問12 中国を含むアジアの国々で、米の生産量が他の地域に比べて圧倒的に多い理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)

1. 冷涼な気候を好み、少ない水分でも育つため、高緯度地域の広大な平原での栽培に適しているから
2. 大規模な機械化に適した広大な乾燥地帯が広がり、地下水による灌漑が容易だから
3. 季節風（モンスーン）の影響により、夏の成長期に高温多湿な気候となるから
4. 人口密度が低く、広大な土地を利用して少人数で効率よく生産できる体制が整っているから

問13 オーストラリアの輸出貿易において、1960年にはイギリスが26%で輸出相手国の1位を占めていましたが、2020年には40%という圧倒的な割合で1位となり、現在のオーストラリアにとって最大の貿易相手となっている国を選びなさい。 (2025年 福岡県公立入試 類似)

1. ドイツ
2. 日本
3. アメリカ合衆国
4. 中国

答え合わせ・解説

問1	答え 4 主権が天皇から国民に移ったことで、選挙などを通じて国民の意思がより強く政治に反映されるようになった。	大日本帝国憲法では主権は天皇にありましたが、現行の日本国憲法では「国民主権」が基本原則となりました。国民主権とは、国の政治の進め方を最終的に決定する権限は国民にあるという考え方です。このため、主権者である国民が選挙によって代表者を選ぶことで、自分たちの考え（国民の意思）を実際の政治や法律づくりに反映させる仕組みが重要視されています。
問2	答え 4 高度経済成長によって家計の収入額が大幅に増加し、消費生活が豊かになったことで、家事の負担を軽減する家電が普及した。	1960年代の高度経済成長期は、技術革新による生産性の向上と、それに伴う労働者の賃金上昇が同時に進行しました。収入の増加は人々の購買力を高め、生活をより便利で快適にしたいという需要を生み出しました。その結果、家事労働を効率化する家電製品が急速に普及し、人々の生活スタイルが大きく変化したのです。選択肢にあるような「物価の下落」や「工業化の遅れ」はこの時期の実態とは異なります。
問3	答え 1 バブル経済	1980年代後半、円高対策としての金融緩和などを背景に、投資目的の資金が土地や株式に集中しました。その結果、価格が実体経済の規模を超えて膨れ上がりましたが、1990年代初頭にこれらが急落（崩壊）し、日本経済は「失われた20年」と呼ばれる長期的な不況に陥ることとなりました。
問4	答え 3 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けるとともに、北からの冷たい季節風が山脈によって遮られるため	太平洋側の気候が冬に温暖なのは、沿岸を流れる暖流の黒潮が空気の温度を下げにくくしていることや、冷たい北西の季節風が険しい山脈（日本アルプスなど）に遮られ、乾燥した暖かい風として吹き降りしてくることが主な要因です。対照的に、日本海側では暖流の対馬海流の影響で雪が降りやすくなります。
問5	答え 2 ソ連との国交を回復したことで、加盟に向けた国際的な環境が整い、承認に至った。	1951年のサンフランシスコ平和条約によって日本は主権を回復しましたが、冷戦下において常任理事国であったソ連の反対などがあり、国際連合への加盟はすぐには実現しませんでした。1956年に日ソ共同宣言によりソ連との国交を回復したことで、ソ連が日本の加盟を支持するようになり、同年12月によりやく国際連合への加盟が果たされました。
問6	答え 3 1950年代半ばから続いてきた高度経済成長が終焉を迎えた	石油危機によるエネルギー価格の急騰は、石油を大量に消費して成長してきた日本の産業界に大きな打撃を与えました。これにより、1974年には戦後初めて実質経済成長率がマイナスを記録し、長期間続いた高度経済成長は終わりを告げました。以後の日本経済は、省エネルギー化を推進しながら緩やかに成長する「安定成長」の時代へと移行することになります。
問7	答え 4 奉公	鎌倉時代の主従関係は、将軍から受ける恩恵である「御恩」と、それに応えて御家人が果たす義務である「奉公」から成り立っています。この関係は、単なる命令系統ではなく、土地の保証を媒介とした双方向の互恵的な関係であったことが特徴です。
問8	答え 1 鉄鉱石や石炭などの鉱産資源	1960年代のオーストラリアは、イギリスなどとの結びつきから羊毛を中心とした農産物の輸出が経済を支えていました。しかし、その後の世界的な工業化、特に中国をはじめとするアジア諸国の経済発展に伴い、工業原料となる鉄鉱石やエネルギー資源である石炭の需要が急増しました。これを受けて、現在のオーストラリアの輸出構造は農産物中心から鉱産資源中心へと大きく転換しています。
問9	答え 2 地方中枢都市	地方中枢都市は、札幌市、仙台市、広島市、福岡市のように、各地方の経済や行政の管理機能が集中している都市を指します。これらの都市は交通網の結節点となっており、周辺地域から人口や事業所が集まる傾向にあります。
問10	答え 3 19世紀後半以降、フランスによる植民地支配を受けた影響が残っているため	19世紀後半から20世紀半ばにかけて、アフリカ大陸の多くの地域はヨーロッパ諸国によって分割され、植民地となりました。特に西アフリカから中部アフリカにかけての広大な地域はフランスの支配下に置かれたため、独立後も行政、教育、あるいは異なる言語を持つ民族同士の共通言語として、フランス語が公用語に指定されている国が多く存在します。
問11	答え 2 大阪などの大都市圏に出版・報道機関が集中しており、印刷物の需要が大きいため。	印刷業は、消費地である大都市に立地する傾向が強い産業です。近畿地方には西日本の中心都市である大阪があり、新聞社や出版社などの情報発信源が集まっているため、それらに付随する印刷・関連製品の製造が活発に行われています。統計上でも、近畿地方におけるこの分野の割合は全国的に見て突出しています。
問12	答え 3 季節風（モンスーン）の影響により、夏の成長期に高温多湿な気候となるから	稲作には十分な水と高い気温が必要です。中国から東南アジア、南アジアにかけての地域は、季節風（モンスーン）の影響で夏に多くの雨が降り、気温も高くなるため、米の栽培に極めて適しています。この自然条件が、中国を世界最大の生産国に押し上げる大きな要因となっています。
問13	答え 4 中国	21世紀に入り、中国は急速な工業化を背景にオーストラリアから鉄鉱石や石炭、液化天然ガス（LNG）などの資源を大量に輸入するようになりました。その結果、それまで最大の輸出相手国であった日本を抜き、現在では輸出・輸入ともにオーストラリアにとって最大の貿易相手国となっています。